

小動物処理業務委託仕様書

1 業務委託の概要

小動物処理業務委託は、相模原市内の道路上等に放置されている所有者の判明しない小動物の死体（以下「死獣」という。）を収集し、北清掃工場へ運搬した後、死獣専用焼却施設にて焼却処理を行うものとする。

2 履行期間

令和7年6月1日から令和8年3月31日まで

3 履行場所

相模原市緑区下九沢2074-2ほか

4 収集運搬業務

(1) 稼働時間

午前8時30分から午後5時までとする。ただし、当日連絡を受けた収集が完了しない場合、又は発注者が緊急処理を指示したときは、この限りでない。

(2) 対象

道路上や民有地内等にある所有者不明かつ引取可能な死獣。

(3) 予定処理量

予定処理量は、次のとおり「令和5年度実績」に基づくものとする。なお、この処理量に増減があった場合でも、契約金額に変更はないものとする。

令和5年度実績：1,443体

(4) 通報の受付、連絡等

通報の受付者、受注者への連絡等は、次のとおりとする。

受付者	受付日時	受注者への連絡方法
粗大ごみ受付事務所	月～金 8:00～18:00 (休日、年末年始を除く)	ファクス
本庁舎警備業務受注者	上記以外の日時	電話

(5) 収集車両

ア 車両調達及び仕様

受注者は、業務に使用するため、自己所有又は自動車検査証上の使用者が受注者である軽ワンボックス車1台を自ら調達するものとする。

イ 使用車両の届出

受注者は、業務で使用する収集車両を「**使用車両届出書(第1号様式)**」により発注者へ届け出なければならない。

ウ 保険の加入

業務に使用する車両は、受注者の負担により、業務委託契約期間中、自動車損害賠償責任保険及び任意保険(対人対物無制限)に加入しなければならない。

(6) 業務従事者

ア 業務の従事者は作業員2名とし、うち1名は運転手を兼ねる。かつ相模原市の地理に精通しており、収集箇所追加、変更等の突発的事項に柔軟な対応が可能なこと。

イ 受注者は、業務従事者の氏名等を記載した「**業務従事者選定通知書(第2号様式)**」を提出しなければならない。

なお、記載内容に変更があるときは、速やかに発注者へ報告するとともに、

同通知書を再提出しなければならない。

(7) 作業用機材

ア 受注者は、本業務を履行するにあたり必要となる停止表示器材、積雪時装備品、箒、塵取、デジタルカメラ、携帯電話及び地図等の作業用機材を自ら調達するものとする。

イ 受注者はマイクロチップリーダーを用意すること。用意するマイクロチップリーダーは下記製品と同等品とする。なお、かかる費用については、受注者の負担とする。

用意するマイクロチップリーダー（同等品可）

動物用マイクロチップスキャナH100PSR（株式会社イーアンドエム製）

ウ 発注者が受注者の作業用機材を点検し、不備と認めるものについては、受注者の費用負担によりその不備事項を改善しなければならない。

(8) 作業場の指示事項

ア 受注者は、収集した死獣を北清掃工場まで搬送し、保冷库に収容するものとする。

(ア) 収集した死獣は、1 個体ごとにポリエチレン製の透けない黒い袋に収納し、臭気を発することのないよう必要な措置を講じなければならない。

(イ) 血痕のこびりつきなど、収集場所が著しく汚れている場合は、水をまくなど簡易な片づけを行うものとする。

(ウ) 作業中は通行人等に危険を及ぼさないよう、また交通の妨げとならないよう特に注意しなければならない。

(エ) 作業前に収集車の日常点検（タイヤ、ブレーキ等）を行い、走行中は周囲の状況により適宜、徐行を行うとともに、駐車する際は、サイドブレーキを確実に引き、急な傾斜地では輪留めを設置するなど、一層の安全対策を行うものとする。

(オ) 鹿等の大型動物（20 kgを超えるもの）は、発注者に連絡し、その指示に従うものとする。

(カ) 受注者は、業務の履行にあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理の推進等に関する条例、その他関係法令等に従わなければならない。

イ 犬・猫の死体を収集したとき

(ア) 収集の際は、首輪、マイクロチップ、犬鑑札又は狂犬病予防接種済票の有無を確認すること。首輪、マイクロチップ、犬鑑札又は狂犬病予防接種済票が確認できた場合は番号を控えること。

(イ) 首輪、マイクロチップリーダー、犬鑑札又は狂犬病予防接種済票が確認できた場合は、速やかに別紙1「首輪・マイクロチップ装着動物連絡票」を次の部署にファクスにより連絡するものとする。

連絡先	相模原市保健所生活衛生課 電話042-769-8347 F A X 042-750-3066
-----	---

(ウ) (イ) の場合及び耳先カット、迷子札のある場合は、収納袋に別紙1「首輪・マイクロチップ装着等動物連絡票」を添付し、引き取り等の際に判別できるように他の死獣と分けて、発注者の指示に従い一定期間（おおむね1ヵ月程度、冷凍庫の状況による）保管すること。

(エ) 相模原市保健所生活衛生課から引き取り等の連絡があった場合は、日程を調整の上、北清掃工場内の保管場所から飼い主に引き渡すこと。

(オ) 犬鑑札又は狂犬病予防接種済票の有無にかかわらず、犬の死体を収集し

た都度、「犬の死体収容報告書(第3号様式)」を記載し、1ヶ月分を取りまとめて生活衛生課へファクスするものとする。

5 焼却業務

(1) 専用焼却施設の概要

数量	1 基
運転方式	バッチ式
焼却量	最大焼却量 1 バッチあたり 1 0 0 kg 基本焼却量 1 バッチあたり 8 0 kg
焼却時間	1 バッチあたり 2 時間
延べ運転時間	1 バッチあたり 4 時間 (燃烧時間に焼却前及び焼却後の運転時間を加えた時間)
使用燃料	灯油

(2) 稼働時間

午前 8 時 3 0 分から午後 3 時までとする。ただし、当日の焼却処理が完了しない場合は、この限りでない。

(3) 業務内容

ア 受注者は、専用焼却施設の運転操作を行い、保冷库に保管している死獣の焼却処理を行う。

イ 受注者は焼却後、別紙 3 「小動物焼却炉日報」を発注者に提出すること。

(4) 予定処理量

ア 年間の予定焼却処理回数は、次のとおりとする。なお、この焼却処理回数に増減があった場合でも、契約金額に変更はないものとする。

1 バッチ	2 バッチ	合計
2 5 日	2 0 日	4 5 日

イ 保冷库に保管している死獣のうち、処理量に応じて焼却処理を実施する。

ウ 首輪、マイクロチップ、犬鑑札又は狂犬病予防接種済票、迷子札のある犬、マイクロチップ、耳先カット、迷子札のある猫は、発注者の指示に従い一定期間（おおむね1ヵ月程度、冷凍庫の状況による）焼却を保留すること。

(5) 費用負担等

業務を履行するにあたり必要となる経費は受注者が負担するものとし、機材等(施設備品、保守用工具等)の調達は、発注者が行うものとする。

(6) 業務従事者

ア 業務の従事者は、作業員 2 名以上とする。

イ 業務の従事者のうち1名は、当該小動物焼却施設の焼却炉、操作盤等の操作に精通したものとする。

ウ 受注者は、業務従事者の氏名等を記載した「業務従事者選定通知書(第2号様式)」を発注者が指定する期日までに提出しなければならない。

なお、記載内容に変更があるときは、速やかに発注者へ報告するとともに、同通知書を再提出しなければならない。

(7) 専用焼却施設の指示事項

ア 受注者は、業務履行にあたり、機器点検には細心の注意を払うとともに、マスク、ヘルメット等防護具を着用しなければならない。

イ 専用焼却施設の点火は、発注者の指示に従い実施するものとする。

ウ 専用焼却施設が故障、又は補修の必要が生じたときは、速やかに発注者に報告し、その指示に従うものとする。

エ 焼却灰及び集じん灰は、発注者の指示に基づき指定した場所に運搬するも

のとする。

オ 専用焼却施設の清掃は、焼却処理の都度、実施するものとする。

6 履行報告、検査等

受注者は、当月分業務完了後、業務履行月の翌月10日までに「**小動物処理作業実績報告書(第4号様式)**」を発注者へ提出し、検査を受けなければならない。

7 労務管理、事故対策等

- (1) 受注者は、労働基準法(昭和22年法律第49号)、労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)及びその他関連法令に定めるところにより、従事者に対する安全衛生対策、福利厚生等を適正に実施しなければならない。特に、安全衛生対策の実施に当たっては、作業服装の点検、作業の打合せ、衛生、健康管理、労働災害の防止等、従事者に対して安全教育、研修等を実施するものとする。
- (2) 受注者は、自動車事故の防止を図るため、道路交通法(昭和35年法律第105号)等関係法令を遵守し、従事者の教育に努めなければならない。
- (3) 受注者は、事故等及び労働災害が発生したときは、速やかに発注者に報告し、別紙2「事故における対応について」に基づき適切に対応するとともに、過失割合にかかわらず、関係者に対し誠意をもって適切な措置を講ずるとともに、事故により生じた一切の責任を負担しなければならない。

8 守秘義務

- (1) 受注者は、相模原市個人情報取扱事務委託基準で定める「個人情報の取扱いに関する特記事項」を遵守しなければならない。
- (2) 受注者は、業務上知り得た情報は、一切他に漏らしてはならない。また、業務上知り得た情報を使用して、業務内容以外の他の業務の営業を行ってはならない。
- (3) 業務で知り得た情報は、当日の収集作業に限り、必要最小限の情報の持ち出し及び転送を可とするが、取扱いは十分に注意し、厳重に管理しなければならない。
- (4) 個人情報の漏洩の可能性がある場合は、速やかに発注者に連絡すること。また、事後速やかにその経緯について発注者へ報告すること。

9 その他

- (1) 受注者は、業務の公共性(生活環境の保全、公衆衛生の向上等)を十分に理解し、常に市の業務を請け負っていることを念頭に置き、業務従事者の服装、行動、態度等において、市民の信頼を損なわないよう留意するとともに、市民に対し、親切丁寧を旨として応対しなければならない。
- (2) 受注者は、業務の履行に際し、市民等からの金品の供与は名目を問わず一切受けてはならない。
- (3) 受注者は、契約期間終了後、本業務が円滑に行えるように、次期受注者及び発注者へ各種マニュアル・各種データ・業務(特に焼却業務)のノウハウを含め、業務遂行に必要な事項を引き継ぐこと。
- (4) 受注者は、発注者から、業務の適正な履行に必要な範囲において、必要な報告書又は記録等の提出、帳簿書類その他の物件の検査、及び事業所や車庫等への立入調査を求められたときは、これに協力しなければならない。
- (5) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行わなければならない。
 - ア 発注者への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
 - イ 受注者は、収集運搬作業開始前の収集現場待機時、昼食等の休憩時、搬入

施設敷地内での搬入待機時等には、原則として使用車両のアイドリングストップを行うものとする。

- ウ 業務実施に伴って発生するごみの減量化・資源化及び適正処理を図ること。
- (6) 仕様書に定めのない事項は、受注者と発注者が協議の上決定するものとする。

別紙 1

首輪・マイクロチップ装着等動物連絡票

回収日時	月 日 () 時頃
場所	区
種類	犬 ・ 猫
マイクロ チップ番号	
犬鑑札番号	
予防接種 済票番号	
特徴（耳カ ット、迷い 札など）	
その他連絡 事項	

別紙 2

事故における対応について

「小動物処理業務委託」を履行する上で、事故などが発生した場合は、自ら適切な処置をとるとともに、被害の規模及び過失割合に関わらず、以下に基づき適正に対応すること。

事故発生	<p>＜初動対応＞</p> <p>○収集運搬作業員</p> <ul style="list-style-type: none">・交通事故(私有地内での事故含む)の場合は、直ちに警察へ連絡する。また、その他の事故や労働災害であっても、被害が甚大な場合や相手方を負傷又は死亡させた場合は、直ちに警察へ連絡する。・人身事故の場合は、直ちに消防機関へ緊急通報する。・速やかに責任者に報告する。 <p>○責任者</p> <ul style="list-style-type: none">・直ちに本市へ報告する。・速やかに事故現場へ急行し、関係者に対して誠意を持って対応する。・相手方が救急搬送された場合は、速やかに搬送先の医療機関へ急行し、相手方の容態等について情報収集を行う。・新しい情報が入り次第、本市へ事故に関する最新の情報を連絡する体制を維持する。 <p><u>※特に重大な事故の場合は、記者発表等をする可能性があるため、責任者は待機すること。</u></p>
事故状況の把握	<p>＜把握したい内容＞</p> <ul style="list-style-type: none">・発生日時、場所・事故区分(人身、物損、労務災害、その他の別)・発生原因の概要・相手方の名前(又は法人名)、性別、年齢(生年月日)、職業、住所、電話番号、車番、怪我の状況、車両・構造物の破損状況等、

<p>その後の対応</p> <p>再発防止策の実施</p>	<p>病院での診断結果、家族との話等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当方の収集運搬作業員の名前、年齢(生年月日)、経験年数、車番、怪我の状況、車両・構造物の破損状況等、病院での診断結果等 ・搬送された病院、付添い人 ・警察関係→事情聴取 ・現場の対応→警察、病院、現場の状況 ・当日及び翌日以降の作業への影響等 ・現場写真(速報時は見取り図でも可) ・その他、本市が必要と判断した事項 <p>○上記内容について、最終的な状況等を取りまとめ、事故の概要を当日中に本市へ書面で報告する。(持込みもしくは FAX)</p> <p>○当日の報告とは別に、後日、「事故処理報告書」及び、本市より指示のある場合は、「事故指導報告書」等必要な書類を提出する。※必要に応じてドライブレコーダー等の記録を提出する。</p> <p>○相手方への謝罪、修理、費用弁済等、適切な措置を行う。</p> <p>○本市より指示があった場合は、怪我の回復状況や相手方との交渉経過等の状況について詳細を報告する。</p> <p>○事故原因の分析、再発防止策の検討及び実施、業務従事者への指導及び周知を速やかに行う。</p>
-------------------------------	--

別紙 3								
小動物焼却炉日報			年 月 日					
		場長	管理班	施設班	施設班	係	受注者	
			担当課長	総括副主幹	担当		総括責任者	
焼 却 日	年 月 日							
焼却度数	1/1	1/2	2/2					
灯油移送ポンプ	No1	・	No2					
灯油流量計	使用前		・	焼却体計			体	
	使用后		・	焼却重量計			Kg	
	使用料		・	灰重量計			Kg	
着火前確認事項	油圧計・異常の有無		有・無					
	排風機・異常の有無		有・無					
	集塵機・異常の有無		有・無					
	冷却ファン・異常の有無		有・無					
	コンプレッサのドレン抜き・オイルチェック		実施					
	バイパスダンパ		開・閉					
	バーナ異常の有無	1次下段	有・無	バーナ燃焼	1次下段	高燃・低燃		
		1次上段	有・無		1次上段	高燃・低燃		
		2次	有・無		2次	高燃・低燃		
		3次	有・無		3次	高燃・低燃		
炉着火時刻	:							
炉投入時刻	:							
炉消火時刻	:							
焼却時間	時間	分						
炉最高温度	℃							
焼却種別	犬		体	特記事項				
	猫		体					
	その他							
	小計		体					
	合計		体					